

# 今日の決意が、 家族を救う。

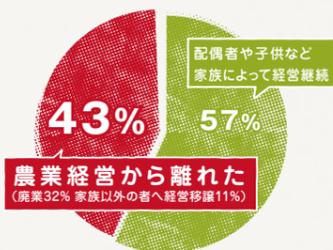
## 〔決意表明〕

わたくし  は、

大切な家族と自分を守るため、農作業事故を未然に防ぐよう、危険を  
しっかり認識した上で、今日から農作業にあたります。

農業は建設業に比べても危険<sup>\*1</sup>と言われており、毎日およそ200件<sup>\*2</sup>  
もの農作業事故が起きていると推定されています。

万一のことがあったとき、43%の家族が  
農業経営から離れたという調査<sup>\*3</sup>も  
あります。もし、自分に事故が起こったら  
農場と愛する家族はどうなるのか・・・



〈農作業死亡事故後の経営の状況〉

そのことを肝に銘じ、

ここに、  
**STOP農作業事故を決意します。**



明日も農業をつづけるために。

JA共済は、農作業事故の未然防止活動を通して、農業者の皆さまの安心・安全な暮らしの実現に取り組んでいます。

\*1 10万人あたりの死亡事故発生件数/農林水産省、厚生労働省の資料より  
\*2 JA共済調べ \*3 農林水産省調べ



SERIES  
シリーズ

# 安全対策 これだけは



目次

トラクター事故 .....	2 ページ
草刈機の事故 .....	6 ページ
コンバイン事故 .....	10 ページ
耕耘機(歩行用トラクター)事故 .....	14 ページ
脚立の事故 .....	18 ページ
農作業事故と労働安全の法律 .....	22 ページ
農作業事故 緊急時の対応 .....	26 ページ



トラクター事故

トラクター事故の3つの特徴

1 走行中の転倒・転落

- 直角カーブ、鋭角カーブ、坂道走行
- 狭い道幅、草むらで路肩・境界不鮮明
- ⇒ブレーキの連結ロック、スピードを抑える

2 作業機の取替・修理時の事故

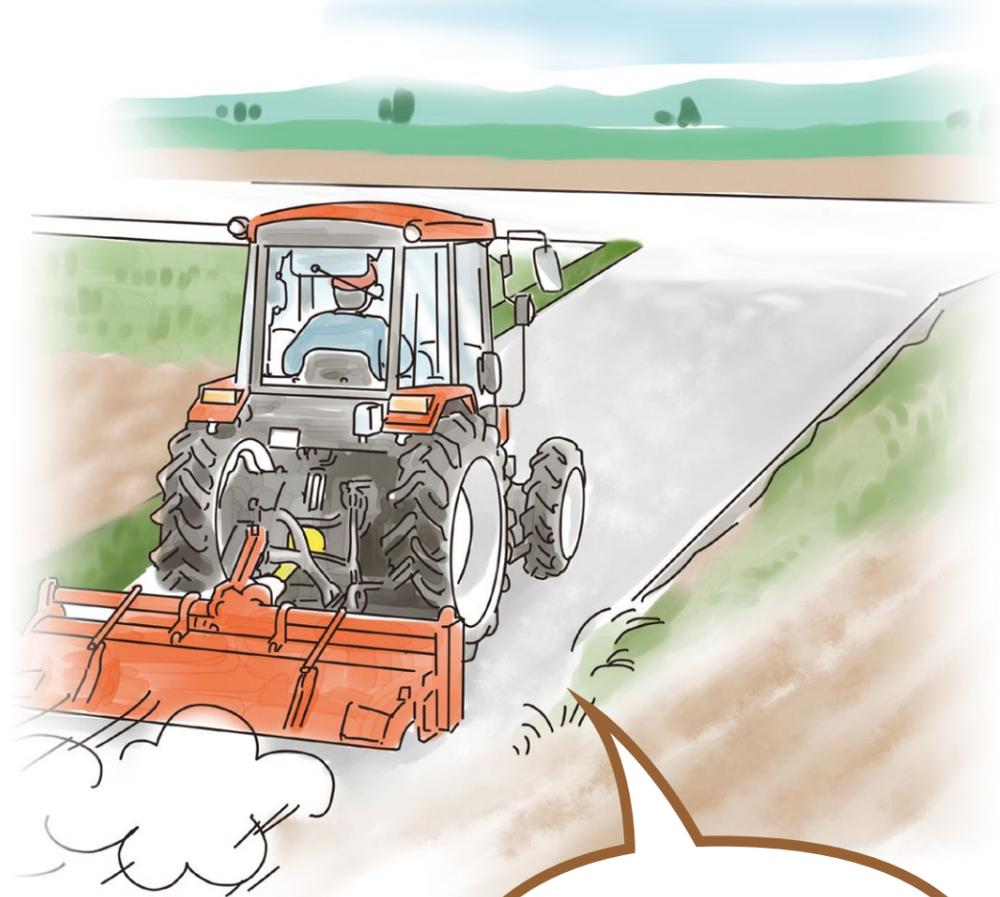
- 間違った手順での事故

3 乗降中の転落

- 大型化により車高が高くなって
- ⇒とくに降車時は後ろ向きに

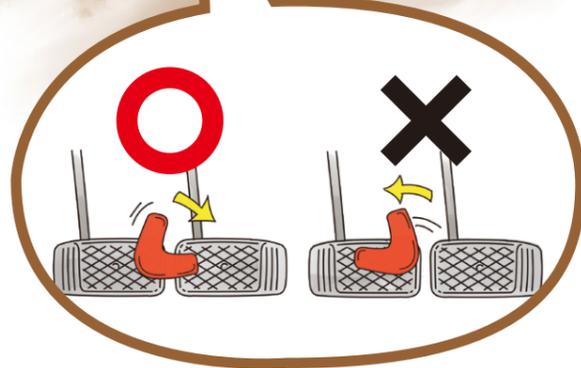
# 1 走行中の転倒・転落

## ① 昇降路、走行中、ブレーキの連結ロックを!



### 事例

斜度5°のカーブでブレーキをかけたとき、ブレーキの連結ロックがされておらず、急回転し、崖側に転落、下敷きとなる。



ブレーキの連結ロックのタイミングは、耕起終了後、昇降路の手前で、確実に

## ② 危険! 狭い道、坂道、直角カーブ、鋭角カーブ

### 事例

雨で少し濡れていた狭い坂道を上って行って、タイヤがスリップ。トラクター転落、本人も7m転落。頸椎骨折、肋骨骨折。

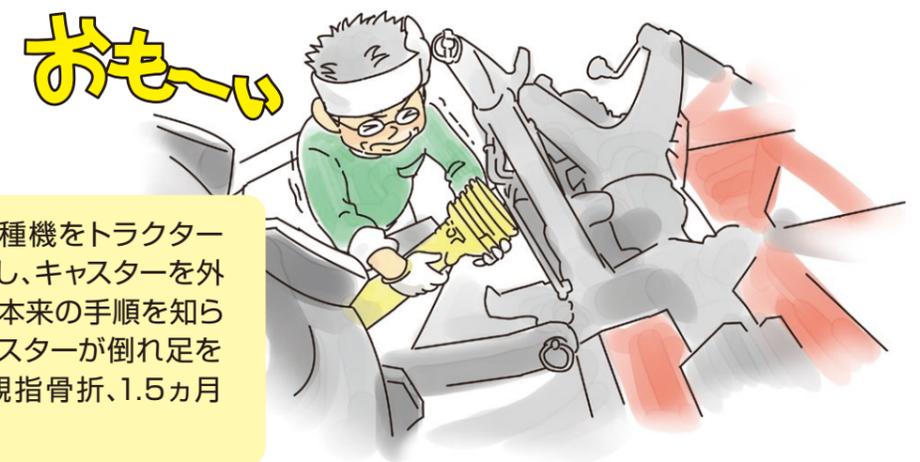


草むらや風化で路肩が不鮮明、標識等の設置をT字路、鋭角カーブは鬼門!

## 2 作業機の着脱時の事故

### 事例

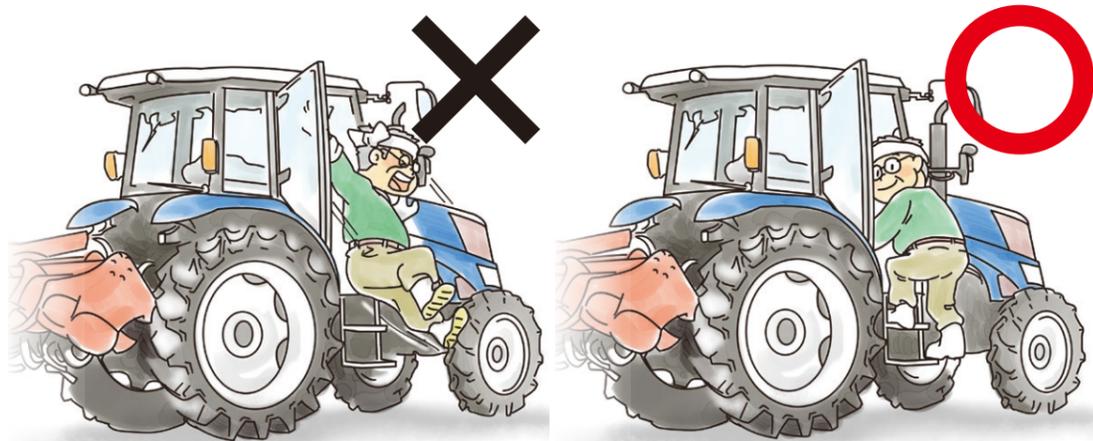
小麦播種機をトラクターに接続し、キャストを外すとき、本来の手順を知らず、キャストが倒れ足を直撃、親指骨折、1.5ヵ月休業。



手順を学ぶ!

### 3 車高が高くなり、起こった事故

とくに降車時に注意。乗り降りには後ろ向きに。



事例 前向きに降り、足を滑らせ、凍った地面に手をついて、手首骨折

#### その他の事故

##### ① 機体との接触、巻き込まれ(回転を止める)

- 作業機が回転、手を入れて巻き込まれ腕切断
- PTOに衣服が絡まり、あわや足を切断
- 田で足を滑らせ、トラクターに激突、膝靭帯断裂、膝血腫他

##### ② 運転席周りは、クラッチ、レバーが突き出ている引っかけ

- 代掻き中、ロータリー点検後、運転席に戻る際、足を滑らせクラッチが入り転落、そのまま鉄車輪にひかれ、肋骨骨折、靭帯損傷他
- 耕耘中、後ろを振り返った時、クラッチレバーが肋骨に当たり、骨折

##### ③ 公道での事故(低速車マークの設置)

- 夜、トラクターでマニュアルブレッダーを牽引し走行中、普通車に追突にされ、肋骨・骨盤骨折等
- ブッシュトレーラーをトラクターで牽引し(全長14m)、右折時、普通車が追突

SERIES  
シリーズ

安全対策・これだけは



#### 刈払機事故の4つの特徴

##### 1 傾斜面・法面の不安定姿勢による事故

- 30~40°以上の傾斜地・法面は滑りやすい
- ⇒小段の設置、スパイク靴の着用

##### 2 回転刃の事故(接触、飛散物)

- キックバックや小石、チップの飛散
- ⇒防護の徹底、飛散防止カバーを外さない

##### 3 事前の環境確認で防ぐ事ができた事故

- 草むらの中に潜む構造物、異物
- ⇒慣れた場所でも、事前確認

##### 4 エンジンを止めずに起こった事故

- 回転を止めず、草の詰まりなどを除こうとして
- ⇒確実に、エンジンを切ってから

# 1 傾斜面・法面で滑っての事故

## 傾斜面・法面に小段の設置を！

### 事例

最初に小段を設けた時、村の年寄りから「公の法面を傷つけないとは何事か」と怒鳴られたが、現在では、そうした人を含め、村中の人小段を設けている。



傾斜面・法面に小段の設置、スパイク靴の着用

# 2 防護の徹底を！

## 回転する刃の危険から身を守る

### 事例

夕方4時半頃「ほんのちょっとの間」だからと、いつもは必ず着けるゴーグルをせずに草刈りを開始。開始3分後、目に何かが飛び込んだ。眼科で取り出してもらったのは、チップソーのチップだった。



# 3 作業前の環境確認を！

### 事例

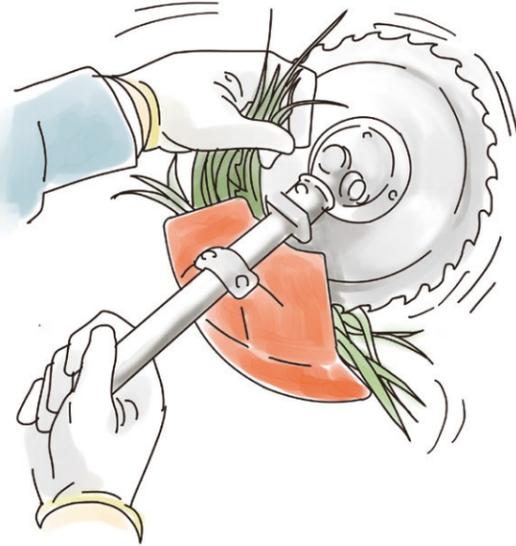
「お盆も近づいたので、裏の草刈りでもするか」と草刈りを始めた。草丈約1m。わずか4m進んだところで、突然1.5mの深さの排水溝へ落下。アキレス腱断裂。



草むらに潜む構造物(穴、溜桝)や切り株、大きな石、空き缶などを、まず点検

## 4 エンジンを止めずに起こった事故!

**事例** 刃に絡まった蔓を取ろうと身を乗り出したとき、右手がスロットルレバーに触れ、回転刃が全開。指を切り裂く。



詰まり除去時や刈払機を置く時エンジン停止!

### 自走式草刈機の事故

#### 方向転換時に事故多発



**事例** 余裕がないところで方向転換をしようとして、排水路に引きずられ落下。右肋骨骨折。

直進時以外、要注意!  
畦での方向転換用の踊り場の設置

SERIES  
シリーズ

安全対策・これだけは



## コンバイン事故

### コンバイン事故の3つの特徴

#### 1 走行中(圃場・道)の転落、横転

- 死角:バック・足下など(機械の大型化により、死角が拡大)  
⇒ 誘導者をつける、道幅を示すポールを設置など
- グレーンタンクに糞が一杯になるにつれ、重心が上昇、かつ、タンク側に傾き、転倒しやすくなる  
⇒ バランスを考えた操作を

#### 2 整備中の事故

- コンバインはカバーを外すと「回転物」だらけ  
⇒ 整備で手を出すときは、「回転を止めて!」

#### 3 「手こぎ」での巻き込まれ事故

- だぶつく手袋の着用、無理な姿勢での手こぎ  
⇒ ぴったりした手袋着用、稲束は押し出すように入れる

# 1 圃場・道路、走行中の転倒、転落

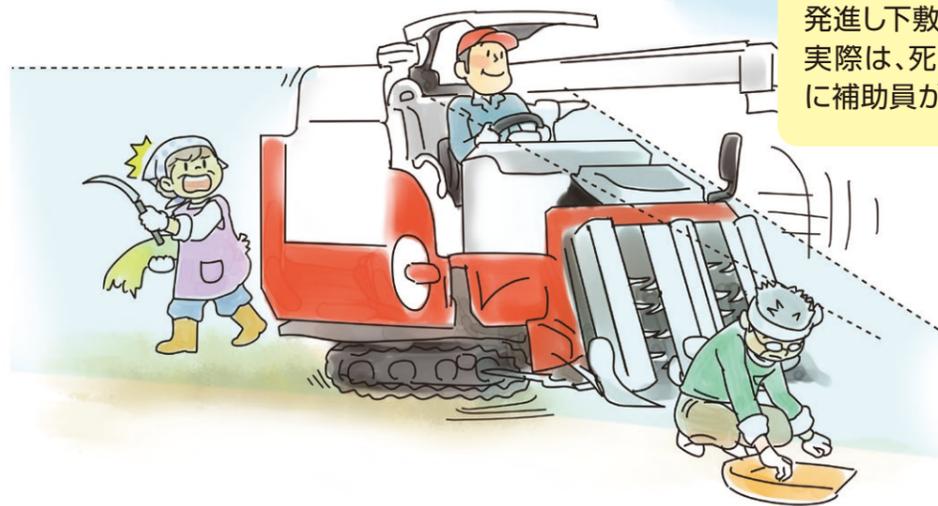
## ① 特にバック時に転落



**事例** 三角形の圃場の角刈り中、後進時に、畦を乗り越え4m下に転落。打撲、擦過傷。

小まめに後方の確認を、補助者は誘導を！

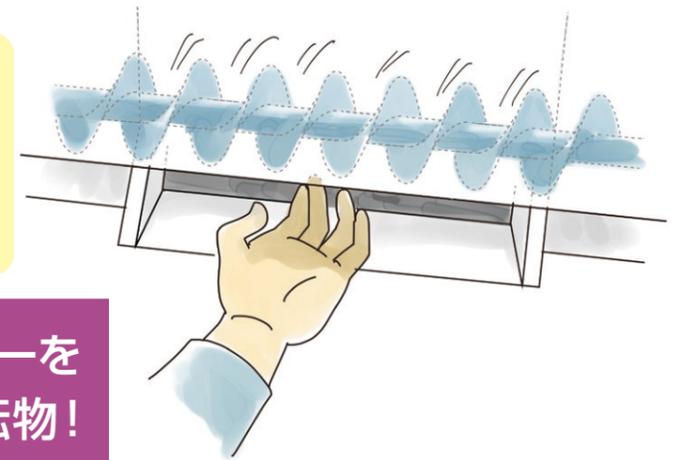
## ② 死角は前方にも



**事例** オペレーターは、複数の補助員がコンバインを離れたと思い、発進し下敷き。実際は、死角の位置に補助員が…。

# 2 整備中の事故、確実に回転を止めて！

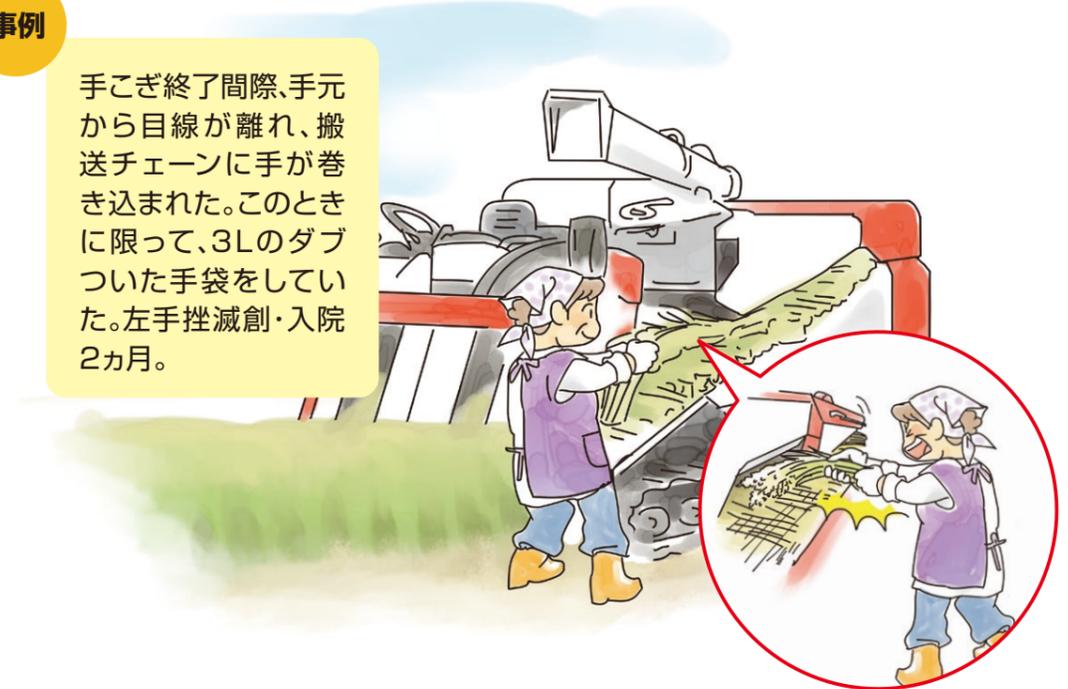
**事例** 秋作業後の清掃中、掃除口を開いて手を入れた瞬間、回転していたスロアに触れ、指を切断。



コンバインは、カバーを外すとまるごと回転物！

# 3 手こぎ中の事故

**事例** 手こぎ終了間際、手元から視線が離れ、搬送チェーンに手が巻き込まれた。このときに限って、3Lのダブついた手袋をしていた。左手挫滅創・入院2カ月。



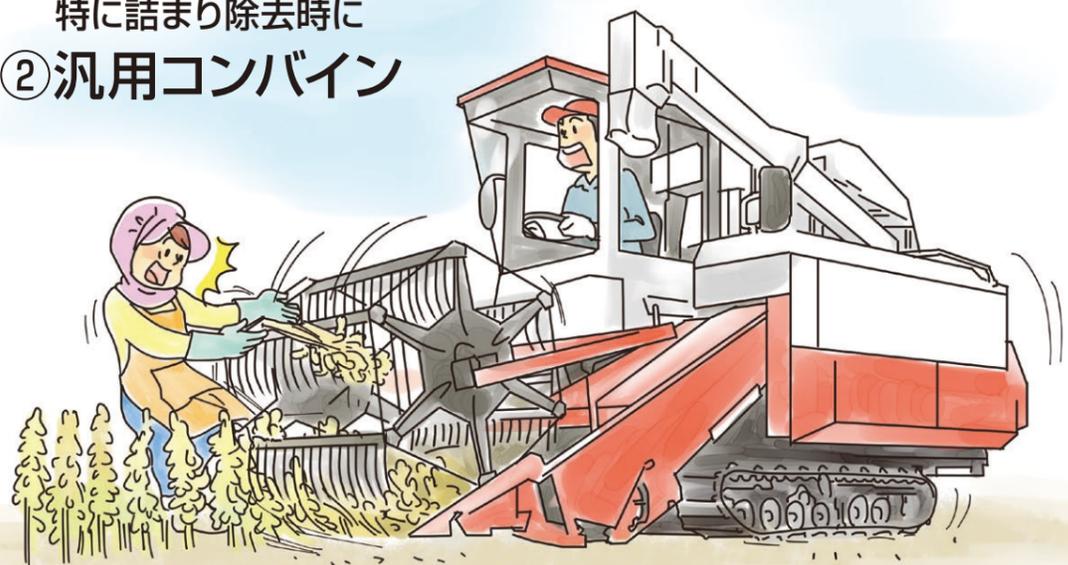
- 1. 稲を確実に押し出してやる
- 2. 手袋をしない(※手袋装着の場合はフィットしたものを使用)
- 3. 稲から目を離さない

## その他の事故

- ① 藁などが詰まり除去中、巻き込まれ  
⇒**回転を止めて!**
  - エンジンをかけたまま、カッターの藁除去中、手首をカッターで切断
  - チェーンに藁が挟まった。引っ張った時逆に巻き込まれ、指切創
  - 詰まった粉を、スローから掻き出そうとして、指がはじかれ、挫滅創
- ② 車両・台車への**積み込み中の事故**
  - 台車にコンバインを載せ、降りる際足を踏み外し転倒、頭部外傷・水頭症
  - トラックに積み込み時、歩み板が外れ、機体が傾き、投げ出され、全身打撲
- ③ 大型化により「**車高**」が高くなって
  - 特に、降車時に足を滑らせ、転倒、転落による足等の骨折など、多数
- ④ ラジエーターが**オーバーヒート**
  - オーバーヒート時に、高音の警告音になり、慌てて、ラジエーターの蓋を開けて、火傷

## その他のコンバイン等の事故

- ① 自走式ハーベスター  
特に詰まり除去時に
- ② 汎用コンバイン



SERIES  
シリーズ

安全対策・これだけは

## 耕耘機事故



## 耕耘機事故の3つの特徴

- 1 圧倒的に多い**バック時**の事故
  - バックの時、後ろの立木、格納庫の壁などに押しつけられ、首が挟まって窒息。
  - バック時に足下が引っかかり、躓いて、そのままロータリーに巻き込まれた。  
⇒後退、バックの際は、必ず後ろを確認。
- 2 固い土・石等での**ダッシング・キックバック**
  - **ダッシング** ⇒最初から深く耕さない
  - **キックバック** ⇒ロータリーと足の位置は常に余裕を持って
- 3 車への**積み降ろし時**の事故  
⇒確実に歩み板を固定して!

## 1 圧倒的に多いバック時の事故

### ①バック時、立木・建物(ハウス)に押しつけられて



**事例** ハウス内で車軸耕耘機をバックさせたところ、ハウスの壁に押しつけられた。ハンドルが持ち上がり、ロータリーに足が巻き込まれる。右腓骨神経断裂。

### ②バック時、足がつまずいて



**事例** バック時、後ろに鉄製の杭があり転倒。そのとき車軸耕耘機のロータリーが、両脚大腿部に突き刺さり、ドクターヘリで搬送。左大腿刺創、右下肢開放損傷、右腓骨神経断裂。

耕耘機のバックは、必ず振り返って後方確認を！

## 2 硬い土、石などの障害による事故

### ①ダッシングによる暴走

**事例** 硬い土の耕耘中、突然ダッシングして暴走。止めようと踏ん張ったが足が滑り、ロータリーの刃が下腿部を貫通した。



### ②キックバック

**事例** ギアを「高速」のまま、畑を耕耘。前日の雨で硬いところと柔らかいところがあり、キックバック。燃料タンクの角で膝を強打、裂傷、7日間入院。



硬い土、石など、ダッシング・キックバックの可能性  
高速回転、一気の深起こしは厳禁！

### 3 車への積み降ろし時の事故



事例

クラッチを入れたら動き出したので、バックギアが入っていると思い、後ろに引いたら、実際はニュートラルとなっていて、そのまま歩み板を滑り落ち、転倒。腰を強打、腰椎圧迫骨折。

小さい、軽いとあなどらず、確実な積み降ろしを！

#### その他の事故

##### ① 圃場内の異物が絡まり

⇒事前に圃場、環境の点検を

- 休耕地の除草中、針金がロータリーに絡まって巻き込まれ、下肢切断。

##### ② 「軽い」ので、安易に持ち上げて

⇒「軽い」からと侮らない、確実な作業を

- 畝間の移動時、手で持ち上げクラッチが近くの枝に引っかかった。クラッチが入って、車軸耕耘機のロータリーが回転、大腿部に刃が食い込む。
- 軽トラックに手で持ち上げ積み込んで、腰椎圧迫骨折。

##### ③ むかるんだ圃場で、足が抜けなくなって

- 靴に泥が吸い付いたようになり、無理に引き抜こうとして、足首捻挫、腰痛など。

SERTES  
シリーズ

安全対策・これだけは



#### 脚立(三脚)使用の5つのポイント

##### 1 設置時にトントンと脚を踏み込む

最下段に乗って、体全体で脚立の脚を踏み込み、脚立を安定に設置する

##### 2 天板に乗らない

必要なら、より高い脚立を使用、樹高を低くする

##### 3 開脚防止チェーンをかける

チェーンが短い場合、紐などで延長する

##### 4 昇降時に物を持たない工夫

収穫物は、紐などで吊して降ろす

##### 5 脚立から身を乗り出さない

身を乗り出さず、こまめに脚立を移動、直近で作業できるように

## 1 脚立設置時に最下段に乗り踏み込む

**事例** 脚立から降りる際、設置した場所にモグラの穴があったのか、脚立の脚が土に潜り脚立から墜落。腰椎圧迫骨折。

設置の際  
最下段に両足で乗り  
トントンを!



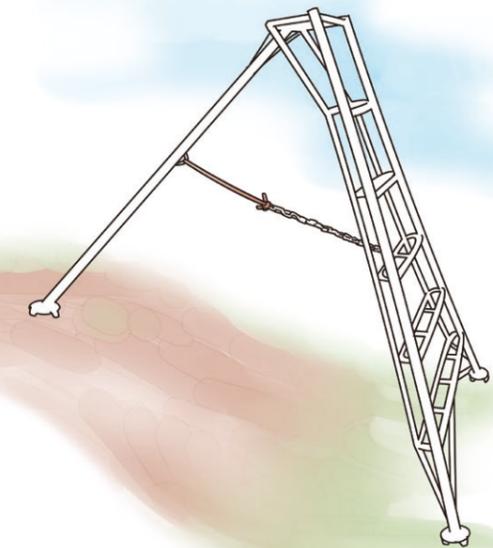
## 2 天板に乗らない

**事例** みかん園でみかんを収穫中、9段の脚立(2.7m)の最上段の天板に乗っていて転倒、本人は脚立の上に転落。肋骨骨折。



## 3 開脚防止チェーンをかける

**事例** 段差のある園地で1本の脚を大きく開き、開脚防止チェーンがかけられず、そのまま柿収穫中、脚立の脚がズルッと滑り落下。腰椎圧迫骨折。



## 4 昇降時・作業中に物を持たない工夫を

**事例** 脚立の天板に乗ってプルーンを収穫、手に持った籠にプルーンが溜まって重くなり転落。下腿骨折。



かごをヒモで降ろすなど

## 5 脚立から身を乗り出さない

### 事例

柿の実をとろうと脚立から身を乗り出し、3.8m下に落下。頸椎骨折、動脈損傷。

脚立をこまめに動かし直上、直下で作業を!



### 三脚・脚立の選択のポイント

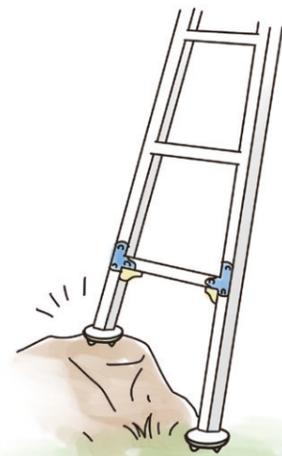
#### ① 脚立は踏ざん幅の広いものを選ぶ

脚立の上で作業をする場合、幅が広いと疲れにくい



#### ② 各脚の長さが変えられるものを選ぶ

平坦な農地はほとんどなく、微妙に長さを変えて安定に設置



#### ③ 適切な高さの脚立を選ぶ

場面ごとに、必要に応じた長さのものを揃える

脚立作業は高所作業、必ずヘルメットの着用を



## 農作業事故と労働安全の法律

### 「労働安全衛生法」等の考え方を農作業事故防止に適用すると

- 1 **高所作業** : 2mを超えるところは安全対策を  
1.5m以上の高さの上下には、安全柵の設置
- 2 **身体防護** : ヘルメット・安全靴着用は義務
- 3 **騒音** : 一定のレベルを超える場合は耳栓
- 4 **照明** : 作業場、畜舎などの照度不足
- 5 **重量物の運搬** : 男性は体重の40%以下、女性はさらにその60%以下が基準

# 1 高所作業「1mは一命を取る」

イチメートル



## 高所転落防止

- 2m以上の高所での作業では、墜落防止の処置をとる
- 墜落が考えられる場合には、90cm以上の安全柵の設置
- 1.5m以上の高さの昇降には、手すりの設置、手すりの高さは90cm

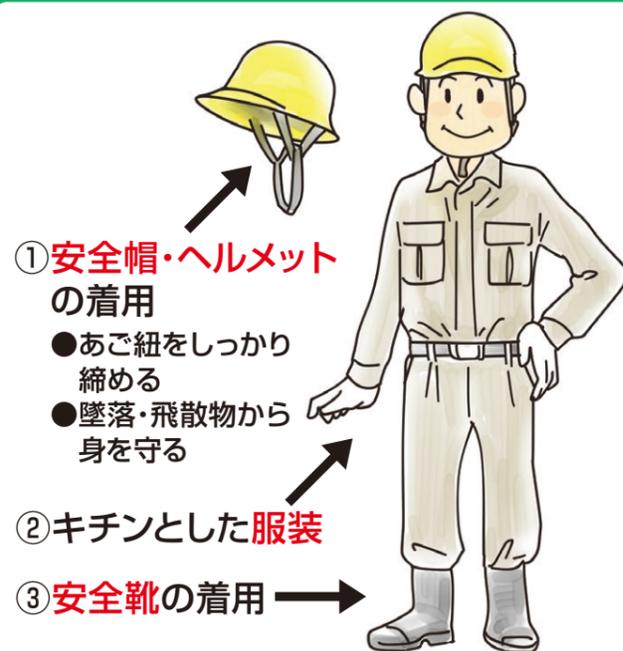
格納庫などの2階には、安全柵の設置  
2階への昇降には階段、手すりの設置

# 2 身体防護、ヘルメット・安全靴の着用

① マイ・ヘルメットの常識

② 安全靴

## 服装・保護具



# 3 騒音、耳栓の着用



## 騒音

- 特にエンジンが小さい刈払機・動散等は周波数の高い音が大きく、騒音性難聴(感音性難聴)を引き起こす可能性あり

4000Hzの周波数帯が  
91dB⇒30分以下、89dB⇒40分以下  
87dB⇒60分以下  
(産業衛生学会ガイドライン)

# 4 作業場を明るく、照明



## 照度

- 精密な作業  
300ルクス以上
- 普通の作業  
150ルクス以上
- 粗な作業  
70ルクス以上

## 5 重量物の運搬

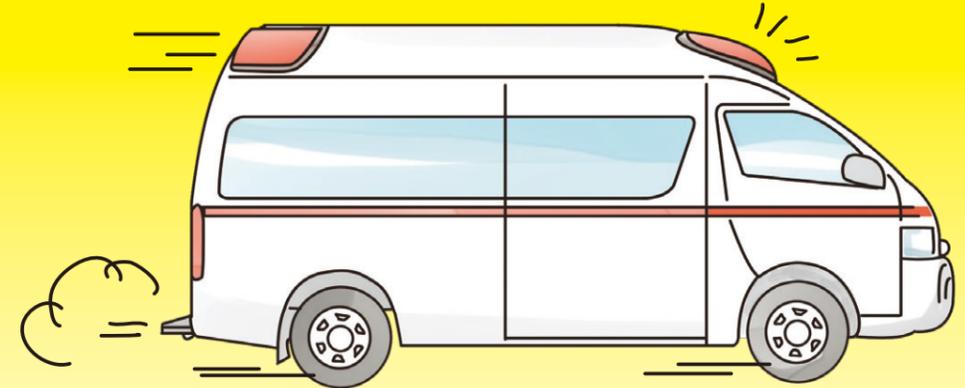


### 重量物の運搬

- 常時、人力だけで取り扱う場合の重量は、**体重の40%以下**となるよう努める
- 女性の持ち上げ能力は、**男性の60%**

### 営農組織などで今すぐ取り組むこと

- ① **作業前の朝礼、作業後の反省会**
  - 作業の手順、注意点の話合いと確認
  - 当日作業で気づいた点、修理、修復点の確認
- ② **ヘルメット着用の義務化**
  - 個々人に「マイヘルメット」として配布
  - 安全靴も各個人に配布
- ③ **農機の格納庫・作業場の安全対策**
  - 2階の安全柵の設置
  - 十分な照明設備を
- ④ **2人以上関わる作業での合図を決めておく**
  - お互いのコミュニケーションの仕方を決める
  - ※ 止まれ、終了、OKなど



## 農作業事故 緊急時の対応

### 事故時の緊急時対応のポイント

- 1 緊急事態を**一刻も早く**伝える
- 2 事故時の対応、**これだけは!**
  - (1) 指を切断した時
  - (2) 耕耘機の刃が足にくい込んだら
  - (3) 蜂に襲われたとき
  - (4) 毒蛇に咬まれた
  - (5) 刺し傷、切り傷
  - (6) 熱中症
- 3 **とくに留意する点**
  - (1) 血液サラサラ薬を飲んでいたら
  - (2) 頭部の打撲、外傷
  - (3) 服薬中の薬は?

# 1 緊急事態を一刻も早く伝える

どんな場合でも「携帯電話の携帯を」



① どんなに近くても  
携帯電話を携帯する

② 携帯電話が、体から  
飛び出さない工夫を



③ 高齢者こそ、必ず  
携帯電話の携帯を

## 携帯電話の携帯3原則

- ① **どんなに近くても携帯を!**  
※緊急時は突然やってくる
- ② **携帯電話が、体から飛び出さないように**
- ③ **高齢者も必ず携帯を**

# 2 農作業事故時の対応、これだけは

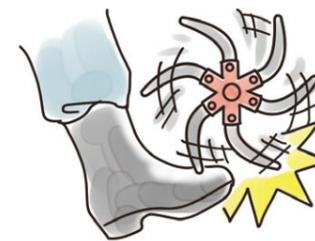
① 指などを切断した場合



## ① 指などを切断した場合

- 切断した指はラップなどに包んで  
氷で冷して医療機関に運ぶ  
※**直接、氷につけない**、洗わない  
最終的な搬送先は、指の接合術  
(マイクロサージャリー)ができる  
医療機関へ

② 耕耘機の刃が足に  
食い込んだとき



## ② 耕耘機の刃が足に 食い込んだとき

- 刃は、足につけたままに  
※**へたに抜くと、血管を傷つけ大出血**。  
農機の専門家(農協など)を呼ぶ。  
レスキューなど

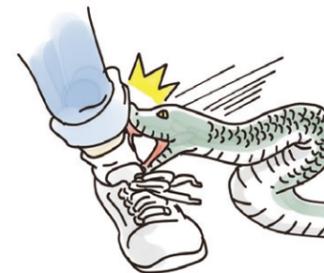
③ 蜂に襲われた時



## ③ 蜂に襲われた時

- 今まで刺されて大丈夫でも、  
今回も大丈夫とは限らない  
※蜂の種類が変われば、突然  
アナフィラキシーにも (**エピペン**の処方)

④ 毒蛇に咬まれた



## ④ 毒蛇に咬まれた

- 咬まれた部位の上部を圧迫
- 咬傷から血を出す  
※口内炎など口の中に傷のある場合は  
要注意。
- **すぐに医療機関へ、ワクチン投与**  
※蛇の種類がわかれば確認のこと

⑤ 刺し傷  
切り傷

⑤ 刺し傷、切り傷

- 破傷風の可能性  
「百姓にとってこれくらい」と勝手な判断は禁物

⑥ 熱中症

⑥ 熱中症

- 気温が高い時だけでなく、**気温が高くなる時が要注意** ※水分補給、暑さ対策
- 発症以前の体調管理が重要  
※意識障害があれば、救急車を要請。

### 3 とくに留意する点

① 血液サラサラ薬の服用



① 血液サラサラ薬の服用

- 出血した時、長時間血が止まらない  
⇒ 止血をしっかりし、医療機関へ
- 打撲による内出血  
内臓における出血は、臓器を圧迫して重篤に

② 頭部の  
外傷・打撲



② 頭部の外傷・打撲

- 硬膜下出血の可能性あり  
⇒ 数ヶ月後に症状がでることがある  
※事故直後、「異常なし」でも長期間の観察が必要

③ 服薬中の  
薬は？



③ 服薬中の薬は？

- 薬の注意書きを読む、守る！  
⇒ 服薬後、眠くなる薬等

本資材は、平成26年度農水省補助事業「農作業事故の対面調査」において一般社団法人・日本農村医学会が制作した資材(全7種)を、JA共済連が冊子化し印刷したものです。